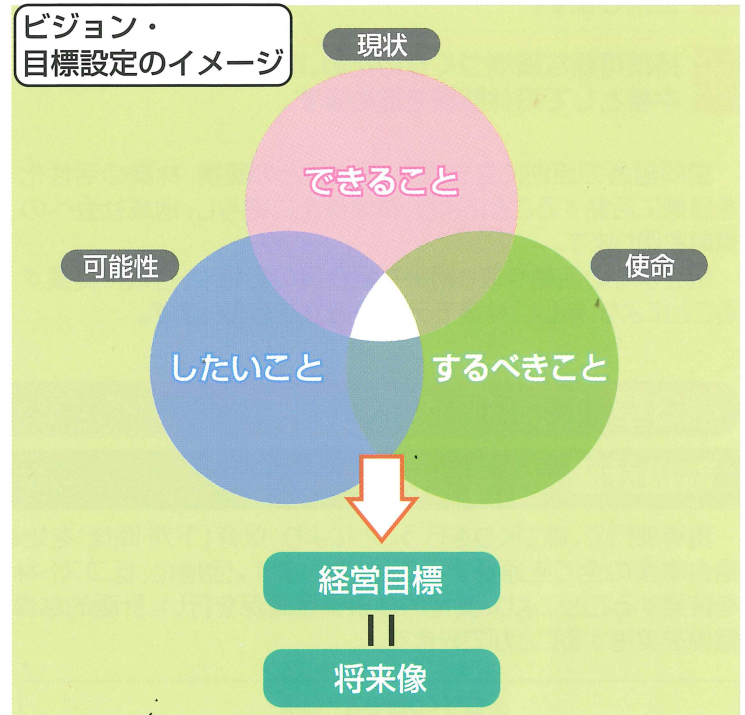


豊田森林組合は、平成17年4月設立時に「運営基本方針書」を作成し、5年が経過しました。

その間、目まぐるしく変化する社会環境の中、「素早い対応」「ビジョン」「活性化」「次世代育成」が不可欠と考え、平成22年度から6年間の経営指針となる第1次中期経営計画を作成しました。

中期経営計画では、あるべき姿とその方向性を明確にし、理念を軸にしたビジョンと目標を設定しました。「絵に描いた餅」にならないために、ボトムアップ方式を採用しながら策定しました。



豊田森林組合 第1次中期経営計画 平成22年度～平成27年度

組合長あいさつ

中根 芳郎

● 今回の中期経営計画を策定するにあたり、合併時に策定した「運営基本方針書」を踏まえ、新たな組織体制のもと、6年という中期スパンで考えました。現在の厳しい環境をチャンスに変えて、豊田森林組合が地域社会に根ざし、かけがえのない財産を後世に引き継ぐために、最大限の努力をしていく指針として、経営理念やビジョンの再構築が必要と考え職員一丸となって作成しました。

森林が持つ多様な価値、変化するライフスタイルに対応すべく、今後とも技術や知識を高め、役職員一同、精一杯励む所存でございます。

組合員、関係者の皆様には、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合員アンケート結果

実施概要

合併5年が経過することにあたり、今までの組合員サービスが適正であるか、また今後の運営の糧とするため、アンケートを行いました。対象は、各地区の組合員構成比率により無作為に抽出し、800人の方々を対象に実施しました。

結果については、日常業務のほか計画づくりの貴重な資源となりました。

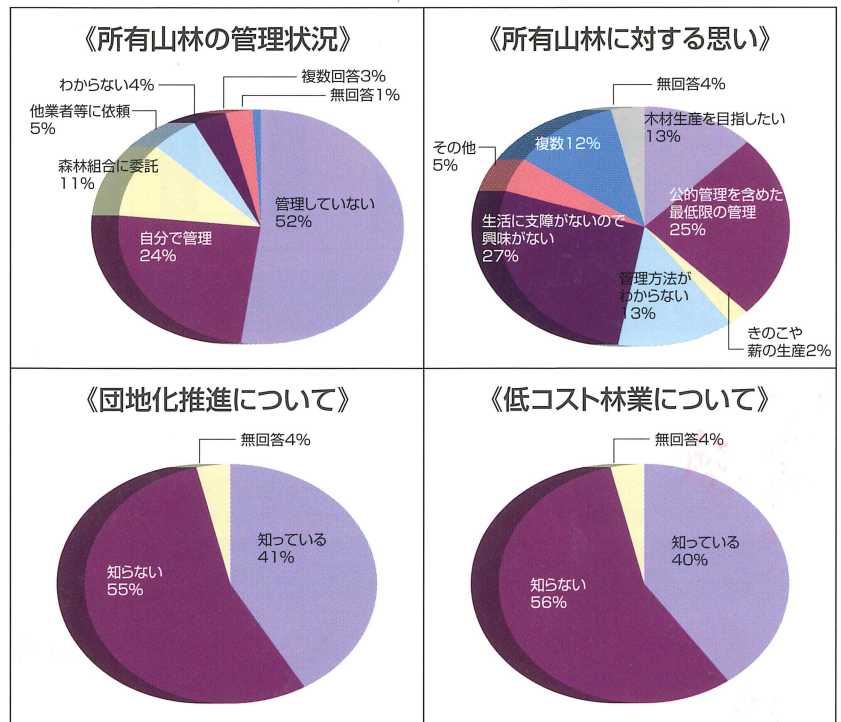
アンケートの配布、回収状況	対象者数/800人 回収/450人 回収率/56.3%(有効回答53.9%)
---------------	--

所有山林の管理状況
管理していない人...52%

所有林に対する思い
公的管理を含めた最低限の管理、方法がわからない、興味がないの3項目を合わせると...65%

団地化推進について
知らない人...55%

低コスト林業について
知らない人...56%



アンケート結果を見ると、〈管理状況〉〈思い〉で半数以上の方が興味も薄れていること、合併以来推進している〈団地化〉〈低コスト林業〉についても50%以上の人が知らないと回答していました。

組合の啓発活動が不足していることを、改めて反省し、計画づくりの大きなヒントになりました。

第2章 経営理念・ビジョン・行動指針・基本方針

経営理念

人、地域、持続できる
環境のために。

- 健全な組合活動を通じ、人々の心が豊かになる社会づくりに貢献します。
- 地域の林業を活性化するため、安定的な地域材供給を目指します。
- 持続可能な環境づくりのため、地域森林管理の中核として森林整備を進めます。

協同組合の原則に立ち返り、組合員との連携、林業の活性化を目標に活動することにより、環境保全に寄与し、地域社会への貢献を図ります。

現在までの活動や取り組みを組合員の皆様や、行政に提案することにより、新しい林業モデルの確立を目指します。

経営ビジョン

組織の充実

組合員、行政、関係諸団体との連携を確立し、自主・自立した森林組合を目指します。

事業の充実

森林管理のシステム化を進め、高性能林業機械により生産される地域材の流通・活用により、生産から販売までの合理的な販売体制を目指します。

経営の充実

組合員、地域に貢献できるような効率的な組織運営と安定的な経営を確立するとともに、職員・作業員の育成を行い、経営資源の充実を図ります。

合併時に策定した「運営基本方針書」を踏まえつつ、現代の林業経営のモデルとなるよう、3つの充実を図ります。

行動指針

経営理念やビジョンを実行するにあたり、行動指針を掲げます。

プロ意識

高い目標を持ち、知識、技術、技能を習得し、プロ意識を持って取り組みます。

協調

固定概念や組織の壁にとらわれず、たえずコミュニケーションを行い、情報を皆で共有し、日常業務に役立てます。

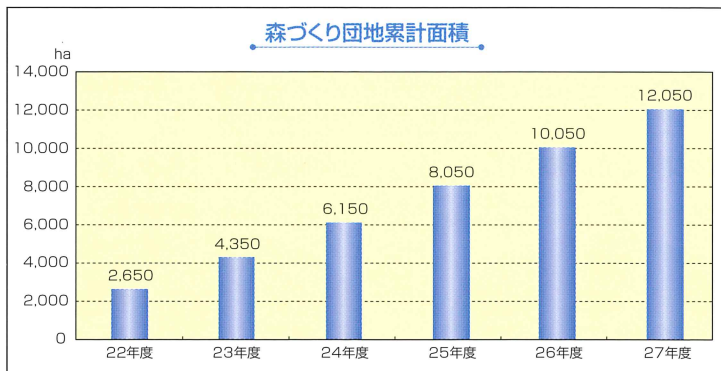
挑戦

既成概念にとらわれず、挑戦を行い、課題に取り組み、常に成長を続けます。

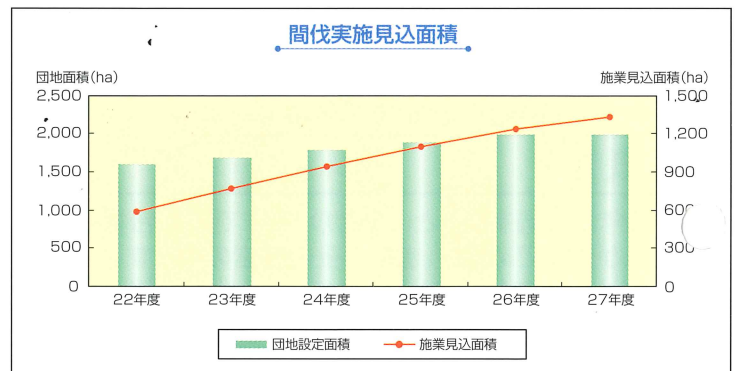
第3章 部門計画・損益計画

取扱計画

指導部門で、森づくりを行うことにより、保育(下刈・間伐)を始め、組合事業の全てを通過することになります。団地化、低コスト林業を啓発することにより、安定的な事業量確保を行い、計画的な森林整備を実施することができます。



部門	説明
指導部門	森づくり、講習会など
販売部門	林産、木材センター、きのこ
加工部門	製材、杭など
森林整備部門	造林一式、請負工事など



管理部門

取組み 1 データベースの構築
組合員台帳や今までの手入りの履歴をデータとして整理することにより、円滑で迅速な森林管理に役立ちます。

取組み 3 人材の育成
利用していただいた全ての方が、再び訪れたいような職場にするため、適材適所に人事配置し、必要な教育を行っていきます。

取組み 2 コンプライアンスの確立
職員一人ひとりが危機意識を持ち、信頼が財産となるよう行動指針の遵守を徹底します。

取組み 4 本館の建設
組織や機能を充実させ、その効果を最大限発揮させるため、本館の建設を行います。購買品や木製品の拡充、また組合員の憩いの場として利用できる施設を目指し、平成27年度を目標に計画を着手します。

財務計画

今後6年間の計画は、基本方針のコンセプトに基づき策定しました。部門計画で計画した、目標数量を実施することにより、平成27年度には、取扱高1,195百万円、事業(営業)利益率3%確保を目指します。

安定した経営を行うことにより、ビジョンで掲げた「組織」「事業」「経営」の充実を図ることが期待できます。

